

# 常任委員会 決算特別委員会分科会

本市議会には、総務、文教福祉、経済民生、建設水道の4つの常任委員会があり、定例会議における議案審査を行っています。  
また、常任委員会を単位とした決算特別委員会の各分科会にて決算審査を行いました。  
9月定例会議における主な議案審査及び決算審査の内容は、次のとおりです。

## 総務

当委員会に付託された議案審査のうち、福島市職員

の定年等に関する条例及び福島市職員の給与に関する条例等の一部改正に関する件については、中核市移行に伴い設置される保健所の長となる医師の職務と責任の特殊性及び採用による欠員補充の困難性などを考慮し、保健所の安定的な運営に資するために条例の一部を改正する旨の説明がありました。



保健所検査棟完成イメージ図

また、当分科会に付託された決算審査のうち、支所及び出張所費の工事請負費については、不具合の生じた西支所・学習センターの冷暖房設備改修工事や吉井田支所・学習センターの空調機改修工事を実施したものである旨の説明がありました。

## 文教福祉

当委員会に付託された議案審査のうち、小学校施設改修事業費(学校トイレ洋式化推進事業)については、

小中学校における洋式トイレの設置率が17・9%(平成29年4月1日現在)と全国平均の43・3%(平成28年11月文科省公表)と比較して、低い設置率となっていることから、更なる洋式化を推進することにより全国平均に近づけていく旨の説明がありました。

また、当分科会に付託された決算審査のうち、待機児童解消促進事業費については、保育所・認定こども園の創設や改修等による定員拡大、保育所と同様の保育事業を行う私立幼稚園に対する事業運営費の一部補助等により一定程度の成果を得ることができたものの、利用申込者が想定以上に増加したことや施設において十分な保育士の確保が進まなかったことなどから待機児童の解消には至っていない旨の説明がありました。



## 経済民生

当委員会に付託された議案審査のうち、土湯温泉町地区都市再生整備事業費については、土湯温泉町の震災からの復興・再生のため、震災と原発事故の影響で廃業した旅館を活用し、地元住民と観光客との交流スペースなどを備えた観光交流センターを整備改修する事業費の増額補正を行うものであります。



観光交流センター外観図

また、当分科会に付託された決算審査のうち、出会いの場創出事業費については、少子化対策とし、独身男女の出会いを応援するためのマナー講座や講演会を取り入れた交流会を3回開催し、男性102名、女性83名の参加があったほか、主に結婚に関する相談を行うライフサポートを設置し、53件の相談があった旨の説明がありました。

## 建設水道

当委員会に付託された議案審査のうち、八島町地区暮らし・にぎわい再生事業については、日本赤十字社福島赤十字病院の移転に伴う地上2階建て立体駐車場棟(約177台分)の整備に係る工事費補助であり、平成29年度から平成30年度にかけて実施される予定である旨の説明がありました。

また、当分科会に付託された決算審査のうち、地域振興施設整備事業費については、福島大笹生インターチェンジ周辺ループ内(面積約3ヘクタール)に整備予定の地域振興施設「道の駅」の整備推進に要した事業費であり、整備計画策定委員会を設置し、調査・協議を進め、魅力発信・交流・地域拠点の基本コンセプトとする基本構想を策定した旨の説明がありました。



福島大笹生インターチェンジ

各常任委員会に付託された議案審査及び各分科会に付託された平成28年度決算審査につきましては、市当局からの詳細なる説明を聴取し、慎重な審議を行った結果、いずれも原案のとおり可決または決算のとおり認定すべきものと決定いたしました。